

科目名 Course Name	こころとからだのしくみⅣ Physical and Emotional Mechanisms IV				ナンバリング No.	J2-013	
年次	1 年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	久保 由佳						
連絡方法	C-Learning で対応。または福祉棟 2F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修／選択	選択(介護福祉士養成課程必修)						
関連 DP	DP2						
授業の概要と 到達目標	身じたくや身体の清潔を保つことの意義、睡眠と休息の意義について理解し、身体の構造や機能、心理的影響に関する知識を習得する。また、心身の機能低下や障害が身じたくや身体の清潔保持、睡眠に及ぼす影響について学習し、根拠を踏まえた生活支援技術との関連から、援助の方法や留意点、利用者への配慮について考える授業とする。 ①身じたくや身体の清潔保持および睡眠と休息の意義について説明できるようにする。 ②身じたくや身体の清潔に関連するからだの構造や機能について説明できるようにする。 ③身じたくや入浴等が心身に及ぼす影響について説明できるようにする。 ④心身の機能低下や障害が整容や入浴・清潔保持動作に及ぼす影響について考え、説明できるようにする。 ⑤睡眠障害が心身に及ぼす影響および安眠への援助について説明できるようにする。						
授業の方法	講義科目であるが、心身の機能低下や障害が身じたくや清潔保持の動作に及ぼす影響については、グループワークと発表を通して考える機会を持つ。また、睡眠障害の原因と安眠への援助についてもグループワークを行い、学生自らが考える授業とする。						
学習成果	L01						
	L02	身じたくや身体の清潔を保つことの意義とからだの構造および機能について関連付けて説明することができる。 睡眠の必要性について説明でき、安眠を得るための方法について考え、具体的支援につなげることができる。					
	L03	心身の障害により生じる整容や入浴動作等の制約、自立や QOL 向上のために必要なことについて考え、支援につなげることができる。					
	L04						
課題に対する フィードバック	グループワークや発表のあとは振り返りの時間を設け、補足説明を加えながらフィードバックする。						
教科書／ 参考図書	①最新・介護福祉士養成講座 第 11 巻「こころとからだのしくみ」中央法規出版 ②最新・介護福祉士養成講座 第 7 巻「生活支援技術Ⅱ」中央法規出版						
履修上の留意点 やルール等	●「生活支援技術Ⅳ」と関連した科目であるため、復習して授業に臨むこと。なお、「生活支援技術Ⅳ」の進度によっては、授業内容を入れ替える場合がある。●グループワーク時は積極的に意見交換し、学びを共有すること。●教材以外のものは机上に置かない。●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。						
担当教員の実務 経験							

成績評価の方法と基準							
評価の領域	評価基準	学習成果の割合					
		L01	L02	L03	L04		
授業参加態度	S 評価は、①授業に集中し、必要なことはノートにとっている。②積極的に参加している。③グループワーク時は他学生の意見を聞いた上で、自分の考えを述べている。		10	10			
レポート／作品							
発表	下記内容をグループで発表する。 ①〔第 10 回〕心身の機能低下が整容や入浴・清潔保持動作に及ぼす影響と必要な援助について		10	10			

	②〔第13・14回〕睡眠障害の原因と安眠への援助について いずれの発表も、内容を十分に考察し、具体的でわかりやすくまとめて 発表しているか、発表時の声の大きさや言葉遣い等で評価する。				
小テスト					
試験	身じたくや入浴・清潔保持に関連したところとからだのしくみ、心身の機能低下が及ぼす影響、睡眠に関する基礎知識、睡眠障害の原因と安眠への援助について出題する。			60	
その他					
合 計			20	80	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(授業のねらいと進め方・成績評価の方法など)、身じたくの意義と目的
	事前・事後学習	身じたくを整える意義と目的をノートに記載する。身じたくを整えるとどのような効果があるか、自分の生活を振り返る。
2	授業内容	身じたくや入浴・清潔保持に関連したところとからだのしくみ① 眼や耳の機能と構造
	事前・事後学習	テキスト「ところとからだのしくみ」P122～126を読む。授業の内容をノートに記載する。
3	授業内容	身じたくや入浴・清潔保持に関連したところとからだのしくみ② 皮膚のしくみ
	事前・事後学習	テキスト「ところとからだのしくみ」P180～183を読む。授業の内容をノートに記載する。
4	授業内容	身じたくや入浴・清潔保持に関連したところとからだのしくみ③ 口腔の機能と構造
	事前・事後学習	テキスト「ところとからだのしくみ」P129～133を読む。P136 演習4を行う。
5	授業内容	身体の清潔保持の意義と目的、入浴・清潔保持に関する利用者のアセスメント
	事前・事後学習	テキスト「生活支援技術Ⅱ」P108～150と配布資料を読み、内容をノートに記載する。
6	授業内容	身体の清潔保持の方法とその影響① シャワー浴、部分浴、清拭、洗髪
	事前・事後学習	配布資料を読み直す。清潔保持の介助のポイントをノートに記載する。
7	授業内容	身体の清潔保持の方法とその影響② 家庭浴槽【演習】
	事前・事後学習	自宅の浴槽で身体が不自由になった場合の使いづらさを列挙する。テキスト「生活支援技術Ⅱ」P115～120を読み、家庭浴槽・個浴での介助方法を確認する。
8	授業内容	身体の清潔保持の方法とその影響③ 口腔ケア
	事前・事後学習	テキスト「生活支援技術Ⅱ」P28～39を読む。授業の内容をノートに記載する。
9	授業内容	心身の機能低下が整容及び入浴・清潔保持動作に及ぼす影響① 機能低下と影響【グループワーク】
	事前・事後学習	事例をよく読む。介助時の留意点を考え、ワークシートにまとめる。
10	授業内容	心身の機能低下が整容及び入浴・清潔保持動作に及ぼす影響② 必要な援助【グループワークと発表】
	事前・事後学習	事例をもとに必要な援助を考え、ワークシートにまとめる。発表に向けて練習する。
11	授業内容	睡眠に関する基礎知識、休息・睡眠に関連したところとからだのしくみ
	事前・事後学習	テキスト「ところとからだのしくみ」P246～250を読む。配布資料を読み直す。自分の睡眠状況を振り返る。睡眠日誌をつけてみる。
12	授業内容	加齢による睡眠の変化、心身の機能低下が睡眠に及ぼす影響
	事前・事後学習	加齢に伴い睡眠にどのような変化がみられるか列挙する。配布資料を読み直す。
13	授業内容	睡眠障害の種類と原因【グループワークと発表】
	事前・事後学習	睡眠障害の原因を列挙する。配布資料を読み直す。
14	授業内容	安眠への援助、変化の気づきと対応【グループワークと発表】
	事前・事後学習	テキスト「ところとからだのしくみ」P251～253を読む。配布資料を読み直す。安眠の条件や援助を考え、自分の生活で実践する。
15	授業内容	援助における医療職との連携
	事前・事後学習	テキスト「ところとからだのしくみ」P266・267を読む。睡眠について医療職に聞きたいことをまとめる。